埼玉
SAITAMA
saitama@mainichi.co.jp

さいたま支局
〒330-9550
さいたま市浦和区仲町3の12の6
JS一1ビル1階
048・829・2961 FAX048・829・2964

埼玉東支局
〒344-0067
春日部市中央6の3の9
048・735・9811 FAX048・739・1219

熊谷支局
〒360-0041
熊谷市宮町2の122
第一宮町ビル5階
048・521・0012 FAX048・520・2208

埼玉西支局
〒350-0042
川越市中原町1の9の1
049・222・0518 FAX049・229・1190

越谷通信部 048・962・2038
川口通信部 048・251・8570
朝霞通信部 048・423・8472
所沢通信部 04・2928・3471
秩父通信部 0494・22・0212

広告は
埼玉毎日広告社 048・864・2521

購読は
0120・468・012

市町村別感染者数（25日）

さいたま市	9083(+69)	白岡市	281(+1)
川越市	2562(+18)	伊奈町	211
熊谷市	852(+14)	三芳町	337(+5)
川口市	5340(+33)	毛呂山町	215
行田市	324(+4)	越生町	50
秩父市	221(+1)	滑川町	55
所沢市	2222(+21)	嵐山町	91(+1)
飯能市	410(+20)	小川町	98
加須市	557(+3)	川島町	66(+3)

必要な人に

熊谷のNPO 試着会

基礎疾患ある子らに

参加した家族らは店員の説明を受けながら商品を手に取り、買い物を楽しんだ＝熊谷総合病院で

基礎疾患がある子や、医療的ケアを必要とする子どもとその家族を対象に、熊谷市のNPO法人とユニクロ熊谷ニットーモール店が、ユニクロの「前あきインナー」の試着会を熊谷総合病院（熊谷市）で行った。コロナ禍で外出が困難な状況が続く中、参加者らは感染対策が取られた院内で買い物を楽しんだ。

ユニクロの「前あきインナー」は、かぶって服を脱ぎ着することが難しい人のために開発された商品。オンラインストアと一部店舗で販売されているが、新型コロナウイルスの感染拡大により店舗へ出向くことが難しい子どもや家族のために、同市の「NPOにじいろ」が試着会を発案した。

参加したのは中学1年から高校3年の子どもがいる県内の11家族。事前に要望があった部屋着などを中心に約50品目が並んだ。参加者は子どもの特徴などを店員に伝えて商品を選び、診察室を使ってリハビリテーション科のスタッフが時折サポートしながら試着していた。

参加した岡芹怜さん(45)は娘の優衣花さん(15)に脳性まひと知的障害があり、車椅子を利用している。「店だと他のお客さんや店舗の広さが気になり、不自由を感じる。ネットだと選ぶのに時間がかかる」という。試着会に参加し「実際の色や素材、サイズが分かった。お店に要望を伝える機会にもなって良かった」と話した。【平本絢子】

「かすかべ子ども食堂ひなた」による食料品などの配布会には、多くの親子連れが訪れた＝春日部市

以前より少なかったが、必要とされる人たちに届けることができてよかった」と話した。8月以降も、毎月最終日曜に同集会所で配布会を続けていく予定という。

「ひなた」は猪狩さんと佐藤さんが中心となり、クラウドファンディングで寄付金を募って立ち上げた。佐藤さんは「2人とも10代で出産を経験し、生きづらさを実感してきた。自分たちがほしかった『居場所』を作りたいというのが活動のきっかけ。早く食堂も再開できれば」と話していた。【萩原佳孝】

東京

川口市
ンクラブ
ングス」
が24日、
バレ！
て」と書
を広げ、
ックのバ
子タブル
目指す
(34)に
た。

同市出
は小学生
ブに所属
11月には
て、後輩
指導した
塚中3年